育成会だより

第 80 号　平成 25(2013)年7月19日発行
発行者　下津第一中学校　育成会文化人権部

「一学期を終えて」　育成会会長　石川晃甲

本年度より育成会会長を務めさせていただいています石川晃甲です。育成会総会及び第二回委員会も無事終了する事ができ、感謝申し上げます。一学期を終えてということで、私自身の中学生時代を思い起こしてみますと、待てども待てどもなかなか夏休みが来なかったような気がしますが世代代わって中学三年生の娘を客観的にみますと「もう期末テストかえ」「もう夏休みかえ」と誠に勝手といいますか、学生を他人事と思うのか、自分の中学生時代はさておいて娘にはそのような事を言うのであります。いやはやしかし実際に時間は昔より速いのであります・・・・・・

さて、まったく話は変わりますが、一中のホームページで浜ノ宮への遠足拝見させてもらいました。みなさん良い顔をしていますねえ。今年の一年生はとても活発であるという事を聞いています。野外が好きだという事をうかがいました。とても楽しみですね。ぜひ近く下津の山や海も行ってみましょう。海は私たち（父母）の子供の頃とは変わっています。また昔にもどった部分もあると思います。湾内には少ないですが石鯛がいます。海上に魚をたべるミサゴという大型の鷹が飛んでいます。そして小畑の山、パイロットコースをたどって北よりの風の日上昇気流に何か浮かんでいます。トンビではありません。鷹匠が使う種類の鳥です。何でしょう。それから下津鰈川の山木、ミカンの木はもちろん雑木林もたくさんありますよ。有名な備長炭の木うばめがしは下津の自然木で最も多い木の一つなのです。私も課外授業行きたいですね。

「地域の方々に感謝！」　校長　木村　拓司

本当に月日の経つのは早いもので、今日は一学期の終業式を迎えました。成長していく生徒たちと一緒に学校生活を送り、毎日、明るい笑顔と気持ちのいい挨拶を交わせることに喜びを感じています。以前は、教室で友達と話をしたり、図書室で読書をして過ごしている生徒が多かった昼休憩も今年は、グラウンドで全学年が一緒になってサッカーをする姿が見られるようになりました。どんなに暑い日でも汗をかきながら楽しく遊んでいる様子は、仲が良く微笑ましい光景です。

さて、各学年をふり返って見ると、一年生は、新しい環境での中学校生活に慣れようとよく努力しました。初めての中間考査、部活動などで中学生らしくなってきたと保護者の皆様も感じていらっしゃるのではないでしょうか。この夏休みには「地域学習」として、元下津町歴史民俗資料館長の中谷澄雄氏から、下津町の歴史等のお話を伺い、それをもとに個人テーマを決め、聞き取り調査を行います。自分のふるさとは、見ようとしなければその良さはなかなか見えるものではありません。そのかわり、見つめていけば、私たちの今まで知らなかったすばらしいことが、いっぱい発見できるものです。

地域の方々にはいろいろと御世話をおかけしますが御協力お願いいたします。

二年生は、防災教育として個人やグループによるレポート作成や壁新聞作成、ＤＩＧ（災害図上訓練）、「稲むらの火の館」の見学をし、また、夏休みには地域で取材活動しながら防災学習を行い、学んだことを全校集会や保護者会での発表、地域への発信、町文化祭への展示を考えています。さらに、七月三十一日から八月二日に「職場体験」を行います。生徒たちにとっては、初めて社会に出ての実習です。挨拶から始まり、接客マナーや仕事の仕方など、職場の実習を通して貴重な体験をします。その経験を学校生活に生かせるよう頑張ってくれると思います。多くの地域の事業所の御協力に感謝致します。

三年生は、下津第一中学校の生徒であるという自覚、自負を持ち、下級生の手本となれるよう努力しています。六月には、地域の方のお宅を訪問させていただきました。それぞれが訪問先で歓迎していただき、おかげさまでよい経験をする事ができました。家族や学校だけでなく、いろんな方が、自分のことを応援してくれている、見守られていることを実感したことでしょう。

中体連の夏の大会が終わると、部活動も引退となりますが、体育祭の創作ダンス等を下級生に指導できるように夏休みに三年生が計画を立てていきます。全校生徒を動かすことは大変なことですが、貴重な体験から多くのことを学ぶことと思います。

全校では、生徒会と下津小学校の児童会とが連携して企画するクリーンパトロールを六月三日に行いました。下津地区の民生委員さんと、今年参加していただくことになった「しもつの子どもを育てる会」の方々にも、子ども達と一緒に空き缶や空き瓶、ゴミ拾いをし、子どもの様子を見ていただきました。

このように、学校は地域の方々をはじめ多くの方の支援によって、より良い教育が可能になると考えております。様々な体験・学習等に快く御協力くださる皆様に深く感謝申し上げます。今後とも下津第一中学校を御支援くださいますよう、心からお願い致します。

「少年メッセージを聞いて」　文化人権部長　岡田　亜希子

先日「少年メッセージ」の発表を聞かせてもらう機会がありました。現代の中学生の子ども達が心の中でどんなことを考え、思っているのだろうと、とても楽しみに出席させてもらいました。

内容はというと、農作業が大好きで、おじいさんの後にくっついてお手伝いし、将来農作業の楽しさをみんなに伝えながら自分の仕事にしたい事、ケガをして打ち込んでいたクラブにしばらく行けなくなり、そのことで仲間の大切さや、健康で好きなことの出来る有難さが分かった事、二十六人二十六色というクラスのスローガンによって、個性を大切にしながら色々な人と交わるのが苦手な自分を変えようと思えた事など様々で、生き生きと、そして堂々と話している姿に感心し感動しました。

このような機会にこれからも是非、積極的に参加したいと思います。

入学式　4.8.

クリーンパトロール　６．３.

「我が子が中学生になって」　文化人権部　木下　有利江

厳粛な雰囲気のなかで迎えていただいた入学式。その日から毎日のように届く学級通信や学年通信での励ましの言葉。先生方の手厚いご指導をいただいたお蔭で、我が子は中学生になってやる気を出して頑張っています。また、弁当箱を自分で洗うように指導してくださったので毎日洗うようになりました。親の目から見るとまだまだ未熟ではありますが、子どもなりに頑張る姿や人として成長する姿を見ることができとても喜んでいます。

なお、親の私も下津一中育友会の伝統を受け継ぎ、先生方に教育に専念していただけるような育友会活動の一端を担えればと思っています。子ども共々これからもどうぞよろしくお願いいたします。

歌舞伎鑑賞　６．１１.

稲むらの火の館見学　７．４.

「赴任の挨拶」　特別支援学級担当　楠木　誠治

今年度より、下津第一中学校でお世話になることになりました楠木誠治です。下津の地で中学校教師として勤務することは初めてで、少し緊張もありますが一生懸命頑張りたいと思います。

専門教科は、保健体育ですが、本校では特別支援学級を担当させていただいてます。

まず、学校を訪れての印象は、周りを山々に囲まれ、近くに下津港もあり、学校の近くには生き物も棲みそうな小川まであり、自然に恵まれた心の安らぎを得られそうな学校だと思いました。

また、近くを国道四二号幹線道路も走り、交通事情もたいへん良いところだと思いました。更に近くには、学校使用可能な拝町体育館や海南市民交流センターなどの公共施設もあり、生徒が学校生活を送るうえで大変恵まれた環境にあると思いました。

さて、学校の印象は、最初に目に飛び込んできた中庭の白い少年少女像です。バックの緑の木々に映えとても美しく印象的に思えました。

学校では紹介式の時、生徒会代表より紹介を受け、私の中学校での教師生活が再スタートしました。その後、生徒の皆さんや先生方からは、いつも温かい声をかけられ今日まで何とかやってこられました。少し年齢が高い分、頭の固い部分や融通の利かない部分、体力的な衰えなどもあり、皆さんにはいつも迷惑をかけています。こんな時、いつもたよりになるのが、生徒の皆さんや先生方の『下一エネルギー』です。この力を借りて、これからも元気よく頑張りたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。